

第6学年 教科「おおたの未来づくり」学習指導案（モデルプラン）

日 時 令和6年10月22日5校時

13：30～14：15

対 象 第6学年1組 37名

指導者

1 単元名 「今によみがえる麦わら細工～復活と創造～」【B 地域の創生】（35時間扱い）

2 単元目標

地域のキネマ通り商店街、大森麦わら細工の会、大田区立郷土博物館と連携し、大田区の伝統工芸である麦わら細工を通して、地域の人々に受け入れられるコンセプト設定や企画、発信を行うために必要な知識・技能等を身に付け、収集した情報やアイデア、視点をもって整理・分析する思考力、判断力、表現力等を高め、持ち味を生かして協働しながら粘り強く取り組む力を育むようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 新たな取組で目指す未来の地域の構想がコンセプトであることを理解し、コンセプト設定に必要な内容や方法に関する知識・技能を身に付けている。</p> <p>② コンセプトに基づいて、地域の人々に受け入れられる取組を企画するために必要な内容や方法に関する知識・技能を身に付けている。</p> <p>③ 企画を具現化し、発信するために必要な内容や方法に関する知識・技能を身に付けている。</p>	<p>① 収集した情報やアイデアを整理・分析し、地域の社会や人々の「Well-being」という視点をもって、コンセプトを設定している。</p> <p>② 収集した情報やアイデアを整理・分析し、効果や実現可能性、持続可能性、コンセプトとの合致、相手意識等の視点をもって、コンセプトに合った、取組の内容や方法等の企画案を考えている。</p> <p>③ 様々な人からの評価等を整理・分析し、試行錯誤して、企画の資料作成や提案・実践の準備等を行い、相手意識に立って発信している。</p>	<p>① 地域の創生に向けた取組のコンセプトを設定するために、様々な人との対話を大切にし、すすんで情報を収集したり、アイデアを出し合ったりして協働的にコンセプト設定に取り組もうとしている。</p> <p>② コンセプトに合ったよりよい企画にするために、持ち味を生かして協働しながら、粘り強く取り組もうとしている。</p> <p>② 企画を具現化し、発信するために、すすんでアイデアを出し合い、持ち味を生かして協働しながら、粘り強く取り組もうとしている。</p>
<p>④ ICTを活用した情報収集や資料の作成に関する知識・技能を身に付けている。</p>	<p>④ 効率性や分かりやすさ、持続可能性等の視点をもってICTを効果的に活用している。</p>	<p>③ モラルや他者意識をもってICTを活用しようとしている。</p>

4 単元について

(1) 単元設定の理由

地域や家庭の人々との交流を通して、自ら考え、判断し、行動できる力を高めてほしいという保護者の願いや、笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育ててほしいという地域社会の要請を踏まえ、本校では、育成を目指す創造的な資質・能力を「未来を切り拓く力」とし、児童がもち味を生かして挑戦できる学習として本単元を設定した。

(2) 授業パートナーとの連携

大森麦わら細工の会、大田区立郷土博物館と連携し、「コンセプト」での講話、「コンセプト」、「デザイン」、「クリエイション」それぞれでのフィードバックを依頼する。キネマ通り商店街の方々との連携を通して、児童が人との対話を大切にし、もち味を生かして協働しながら、粘り強く取り組もうとする資質・能力の育成が期待できる。

(3) 学習過程

「実社会で活躍する人との出会い等」では、キネマ通り商店街の方々との対話を通して、地域の創生に向けた取組のコンセプトを設定するために、すすんで情報を収集することを重点的に指導する。

「コンセプト」では、コンセプト設定に取り組みさせることで、地域の社会や人々の「Well-being」という視点をもって考えることを重点的に指導する。

「デザイン」では、取組の内容や方法等の企画案を考えさせることで、効果や実現可能性、持続可能性、コンセプトとの合致、相手意識等の視点をもって考えることを重点的に指導する。

「クリエイション」では、企画を具現化させることで、相手意識に立って発信することや、もち味を生かして協働しながら、粘り強く取り組もうとすることを重点的に指導する。

(4) 本単元で扱う教科等の内容及び本単元に充てる授業時数 (35 時間)

教科等名	本単元で扱う内容	授業時数
総合的な学習の時間	プログラミングをしよう、SDGsについて学ぼう	15
国語	発見、日本文化のみりよく	8
社会	願いを実現する政治	5
図画工作	わたしの感じる和	2
家庭	共に生きる地域での生活	2
外国語	地域のことを伝えよう This is our town.	3

5 児童の実態

こどもたちは、これまで折に触れて地域の歴史や特色について学習してきた。ただそれも昭和を中心とした近代の地域の様子や特色で、工場・ものづくりの町といったことに学習の視点が置かれていた。今回、江戸時代までにさかのぼって地域のことを学び、驚きと関心の目で取り組んでいる。

特に大森中の大林寺が麦わら細工の伝来に関わっていること、また葛飾北斎が下絵を描いたこと等、身近に大きな歴史が存在することに改めて気づき、大きな興味・関心をもち始めたところでもある。

総合的な学習の時間や学級活動等では、深く地域に貢献しようとしたり、地域の歴史を考えたりといったことはしていないので、地域の「歴史」「これから」について、伝わる工芸品と関連付けて考えさせたい。

6 指導の手だて

(1) 地域の伝統工芸「麦わら細工づくり」の再現

麦わらを使った作品づくり、その技術を知って作品を作ることで、児童が自分の持ち味を生かして

挑戦し、主体的に取り組もうとする態度を身に付けることができるようにする。

(2) 授業パートナーとの事前打合せ

授業パートナーと2回以上の打合せを行う。第1回は、電話にて挨拶を行う。管理職と担任から本単元の価値について説明することで、円滑な学習の実現を図る。第2回は、担任との対面で、学習の流れを説明することで、授業に参画してもらうタイミングや回数を伝え、見通しをもつことができるようにするとともに、担任が実際に麦わら細工体験をさせていただいた。

(3) ICT等の活用

「クリエーション」では、児童用タブレットパソコン端末内のアプリを活用することで、相手意識に立って発信できるようにする。

7 指導計画

時	学習過程	◆評価規準【観点】 (方法)
1 ～ 8 (本時)	<p>○主な学習活動 ★指導の手だて</p> <p>○授業パートナーの講話を聞き、依頼を受ける。 ★授業パートナーの講話を通して、これまでに取り組んでいることや課題として感じていることを捉え、児童が課題意識をもつことができるようにする。</p> <p>○コンセプトを設定するために必要な情報の収集を行う。 ★ブラウザ検索、スレッドでの情報共有、Forms を活用したアンケート調査など、必要に応じた調査を行うことを通して、コンセプト設定に必要な内容や方法に関する知識・技能を身に付けることができるようにする。</p> <p>○収集した情報を整理・分析してコンセプトを設定する。 ★付箋や思考ツールを活用して協働的に考えさせることで、地域の社会や人々の「Well-being」という視点をもって考えられるようにする。</p> <p>★ICT、ビジュアル機器を活用することで、児童が自分の持ち味を生かして挑戦し、主体的に取り組もうとする態度を身に付けることができるようにする。</p> <p>○設定したコンセプトを授業パートナーに伝え、フィードバックを受ける。 ★授業パートナーから助言や励ましをもらい、必要に応じて再検討することを通して、児童が粘り強く取り組めるようにする。</p>	<p>◆【主】① (ワークシート、行動・聞き方・メモの取り方観察)</p> <p>◆【知】① (ワークシート、行動観察)</p> <p>◆【思】① (付箋の内容・話し合い活動の観察)</p>
9 ～ 27	<p>○取組の内容や方法等の企画案を考えるために必要な情報の収集を行う。 ★ブラウザ検索、スレッドでの情報共有、Forms を活用したアンケート調査など、必要に応じた調査を行うことを通して、コンセプト設定に必要な内容や方法に関する知識・技能を身に付けることができるようにする。</p> <p>○収集した情報を整理・分析して企画案(内容、方法、回数、時期、時間帯、場所、誰に協力を依頼するか、予算、準備期間、役割分担等)を決定する。 ★付箋や思考ツールを活用して協働的に考えさせることで、効果</p>	<p>◆【知】② (ワークシート、行動観察)</p> <p>◆【思】② (企画案、ワークシート)</p>

		<p>や実現可能性、持続可能性、コンセプトとの合致、相手意識等の視点をもって考察できるようにする。</p> <p>○決定した企画案を授業パートナーに伝え、フィードバックを受ける。</p> <p>★授業パートナーから助言や励ましをもらい、必要に応じて再検討することを通して、児童が粘り強く取り組めるようにする。</p>	<p>◆【主】② (授業パートナーとのやりとり、再考の進め方等観察)</p>
28 35	クリエーション	<p>○企画を具現化し、最終プレゼンテーションを行い、授業パートナーに伝える。</p> <p>★授業パートナーから助言や励ましをもらい、必要に応じて再検討することを通して、児童が粘り強く取り組めるようにする。</p> <p>○企画案の内容の通りに、実際に発信・行動する。</p> <p>★ICT、アプリ、ビジュアル機器を活用することで、児童が自分のモチ味を生かして挑戦し、主体的に取り組もうとする態度を身に付けることができるようにする。</p>	<p>◆【思】③ (企画内容、ワークシート、行動観察)</p> <p>◆【知】③ (企画案、行動観察)</p> <p>◆【主】③ (発表の仕方、行動観察)</p>

8 本時の指導 (全 35 時間中の第 6 時)

(1) 目標

商店の要望をもとにして、自分たちで「歴史」と「これから」を考えてコンセプトにつなげる。

(2) 展開

(思考力、判断力、表現力等)

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	<p>◆評価規準【観点】(方法)</p> <p>★指導の手だて ※指導上の留意点</p>
導入	<p>○学習のゴール、学習計画、前時に取り組んだことや課題となっていたことを振り返る。</p> <p>○本時のめあてを設定する。</p> <p>○本時の学習活動の流れを確認する。</p>	<p>※指導者はファシリテーター役となって、計画や課題を基に児童がめあてを設定できるようにし、自立的な学びを促す。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>商店街の人の思いに近づけるようなコンセプトを考えよう。</p> </div>	
展開	<p>○グループごとに商店街の人の思いを受け止めながら、それに応えられる、それが生かせるコンセプト(コピー、フレーズ)を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の人の思いを何度も確かめる。 ・そのお店に合ったデザイン、コピー等を出し合う。 <p>○集まった付箋をグループ分けし、作る麦わら細工のコンセプトと、設定理由を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番前面に出したいこと。 ・これだけは外せないということ。 	<p>★付箋を活用したブレインストーミングを行い一人一人の考えをコンセプト設定に生かすことができるようにする。</p> <p>★KJ法的手法を用いて、コンセプトをグループ化し話し合う視点を明確にする。</p> <p>※グループ活動の状況に応じてインターバルを設定して、順調なグループの進め方を共有化し、互いに高め合うようにする。</p> <p>◆【思】① (付箋の内容・話し合い活動の観察)</p>

<p>振 り 返 り</p>	<p>○各グループの進捗を確認し、次の時間に取り組むことを確認する。</p> <p>○めあてを達成するために努力した点や工夫した点、次回に生かしたいことを振り返る。 (学習アプリを活用して実施する。)</p>	<p>★グループの話合いの進め方や相手意識に基づいたコンセプト設定についての記述を取り上げ、よりよいコンセプト設定の在り方を共有化する。</p>
----------------------------	--	--